

■疑問を共有する仲間■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 405 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてはほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

405 目次

1. トピックス：毎週土曜日・複式簿記セミナーのご案内
2. ブログより：疑問を共有する仲間
3. 今週のお誘い+今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：毎週土曜日・複式簿記セミナーのご案内

今年も確定申告の季節がやってきました。

毎週土曜日は、笑恵館で松村がよろず相談を承っていますが、1月と2月はいつでも「複式簿記セミナー」を開催しますので、興味のある方は気軽にご相談ください。

ビジネスは、自己流でのびのびやるべきですが、「複式簿記」を理解しなければ、青色申告や会社の決算はできません。

ところが・・・これから起業する人も、すでに経営をしている人も、多くの人が「難しい」と思いこみ、学ぼうとしていません。

でも・・・複式簿記は特殊な専門知識ではなく、世界中の人が使いこなす「世界の常識」です。

このセミナーは、自分で「小さな会社を作り、日々の出納帳→資金繰り→決算」のプロセスを 2 時間で体験します。

起業とは、「とにかく自分自身でやること」です。あなたも複式簿記を大雑把にマスターしよう！

日時：毎週土曜日 2 時間程度

会場：笑恵館

費用：3,000 円 (1 名より開催します)

主催：株式会社なのに

なお、開催の場合は告知して参加者を募集したいので、できれば早めにご相談ください。

.....

2. ブログより：疑問を共有する仲間

先日世田谷で、環八に面する 500 坪の土地を相続する話を聞いた。

環八の路線価は 500,000 円/m²なので、この土地の相続評価額は約 825,000,000 円となる。

6 億を超える財産の相続税率は 55%なので、この土地にかかる相続税は約 453,000,000 円。

一方、相続評価は市価の 70%とされているので、この土地の市価は 1,178,000,000 円となり、これを譲渡した場合の譲渡所得税は約 235,700,000 円となる。

僕が提唱する「脱相続＝土地所有の法人化」とは、相続のたびに相続税を払い続けるのではなく、譲渡所得税を 1 回だけ納税することで土地を非営利法人に寄付してしまい、不死身の所有者になるやり方だ。

この場合、4 億を超える相続税を世代交代のたびに払い続けるか、その半分の譲渡所得税を負担するだけで法人に譲渡して、世代を越えてこの法人を維持するかという選択だ。

土地を売りたいくない、売る気の無い人なら、後者を選択すべきなのは明らかだ。

・

この話を聞いた時僕は、昨年末友人 G 君からの報告を思い出した。

それは東京東部の S 区で、苦労の末ようやく 60 億の相続税を払うことができた大地主さんのつぶやきだ。

自分は何とか払うことができたものの、なぜ代替わりのたびにこんな苦労を繰り返さねばならないのか。

世田谷の例と同様に計算すれば、税額 60 億を税率 55%で割れば評価額 109 億となり、仮に路線価 400,000 円/m²だとすれば 27,250 m² (8,257 坪) となる。

G 君が活動する K 町の面積は約 25 ヘクタールなので、約 1 割の面積に相当する。

永續する地域コミュニティに取り組む僕たちにとって、この規模の土地を所有する一人の人が仲間になってくれたなら、間違いなく強烈なインパクトを持つだろう。

・

だが同時に、このインパクトが僕らの狙い通りの効果をもたらすかはかなり疑問だ。

僕らの狙いは土地を個人で所有せず、共有する選択肢を提示することなのに、大きな土地や金額の持つ衝撃力は、そのホコ先を贅沢や羨望へと向けかねない。

このことをまざまざと感じたのが、今回大阪湾に現れたマッコウクジラの死だ。

突如現れた 8m の巨体は、即座に「淀ちゃん」と呼ばれる人気者となり、海辺には全国から見物人が集まった。前例のないこの事態に手をこまねくうちに、ついにクジラの死亡が確認され、物議をかもしている。

クジラが可哀そうだ、なぜすぐに助けなかったのか、クジラ 1 頭助けられずに何が SDGs だと、もはや議論の暴走を誰も止められそうにない。

インパクトとは、気付きを生み出すモノでなく、思い込みを加速するモノなのかもしれない。

・

今回のクジラ騒ぎだって、行政も専門家たちもタダ手をこまねいていたはずがない。

恐らく様々な意見が交わされ、様々な対処法が検討されたが、その実行が間に合わなかっただけだろう。

だが、この「間に合わない」ことが問題だ。

検討中で構わないから発表し、社会と課題を共有すべきだった。

恐らく彼らは、発表＝結論であり、そこに伴う責任を懸念していたのだろう。

今回の場合で言えば、クジラが迷い込んできた時点での対処、1 日様子を見た上での対処など、対処に関する説明が皆無に近い。

これでは「どうすべきだった」という反省どころか、「何もしなかった」とされてしまう。

・

インパクトが思い込みを加速するのなら、逐次説明することで、有意義な議論に誘導できるのではないか。

いやむしろ、説明とはそのための手段ではないかと、僕は気が付いた。

説明とは「疑問に答えること」であり、説明が示すのは「どういう疑問を持ったか」でもある。

様々な出来事において問われる「説明責任」とは、単に説明せよということではなく、疑問に答えることで事態を進捗させる責任だ。

求められた時の説明によってのみ、その原因となったインパクトの矛先を修正できるのであり、そのタイミングを逃したら最後、その関係性は時とともに変化し続けてしまう。

安部元首相を狙撃した山上容疑者の動機説明だって、もしも事件直後でなく、永い黙秘の後だったなら、今とは全く違う状況になっただろう。

・

そろそろ、迷走気味な今日の議論の本題をはっきりさせよう。

土地所有に関する僕の提案は、相続に関する家族の内紛や相続税負担の重圧に悩む人に対するインパクトを持つからこそ、その当事者や関係者から相談を持ち込まれるのだろう。

だが僕の目的は、そうした争いや負担から逃れることでなく、完全に消し去ることに他ならない。

したがって僕の悩みは、自分の言葉に託す強い思いと、それがもたらす衝撃がかけ離れてしまうことなんだ。

そこに飛び込んできた G 君の報告はまさに朗報であったが、それにもまして僕は、G 君が朗報と承知して伝えてくれたことに感動した。

そもそも、土地もお金も持ち合わせない僕の気づきを共有してくれるのは、土地やお金を持つことに疑問を感じる人のはず。

どうすればその疑問を持つのかではなく、どうすればその疑問を共有できるのか。

常に思いを語りかけ、その人が「僕と共有できる疑問を持った瞬間」を、逃さず捕まえたいと強く思った。

<https://nanoni.co.jp/20230116/>

.....

3. 今週+今後の予定（下記以外はすべて空いてます）

【凡例】◎：申込不要、○：申込必要、×：一般参加不可

■今週の予定

(火) 01/17 なのに（世田谷）作業日

(水) 01/18 なのに（世田谷）作業日

会議×：09-11時 Mさん相談（笑恵館）

会議○：11-14時 OforW 運営会議+新年会（笑恵館）

(木) 01/19 なのに（各所）作業日

会議×：10-11時 Sさん相談（笑恵館）

会議×：14-15時 LRL 打合せ（反町）

会議×：16-17時 Sさん相談（鷺沼）

交流◎：18-20時 完全持ち寄り食事会_3木（笑恵館）

会議×：20-21時 AR 子ども書籍 MTG_3木（オンライン）

(金) 01/20 なのに（世田谷）作業日

(土) 01/21 なのに（世田谷）作業日

交流◎：09-17時 よろず相談会_土（笑恵館）

（日）01/22 いづみ（横浜）作業日

交流◎：09-17時 いづみプロジェクト説明会（反町）

会議○：18-20時 100smiles 打合せ（大倉山）

（月）01/23 なのに（世田谷）作業日

会議○：09-12時 八島花事務局 MTG（横川）

■今後の予定

01/24 会議○：20-21時 LR 定例営会議_4火（オンライン）

01/26 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議_4木（笑恵館）

01/28 交流◎：09-17時 よろず相談会_土（笑恵館）

01/29 交流◎：09-17時 いづみプロジェクト説明会_日（反町）

01/30 会議×：15-17時 Sプロジェクト（笑恵館）

02/01 会議○：19-22時 八島花文化財団（京島）

02/04 交流○：18-21時 ロマンズ座食事会（経堂）

02/05 会議◎：10-12時 八島花文化財団理事 M_1日（オンライン）

02/09 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議_2木（笑恵館）

02/11 会議×：12-14時 RYUSEN 定例会（オンライン）

02/12 会議×：20-21時 100smile 会議（反町）

02/13 講座○：20-22時 複式簿記入門講座（オンライン）

02/14 会議○：20-21時 LR 定例営会議_2火（オンライン）

02/16 交流◎：13-18時 なるほどデイ_3木（笑恵館）

02/16 交流◎：18-20時 完全持ち寄り食事会_3木（笑恵館）

02/16 会議×：20-21時 AR 子ども書籍 MTG_3木（オンライン）

02/19 会議○：20-21時 八島花文化財団事務局 MTG_3日（オンライン）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://localrepublic.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。
参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>